



2020年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年2月13日

上場会社名 株式会社キャンディル 上場取引所 東
 コード番号 1446 URL <https://www.candeal.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 林 晃生
 問合せ先責任者(役職名) 管理部門担当取締役 (氏名) 藤原 泉 (TEL) 03-6862-1701 (代)
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第1四半期の連結業績(2019年10月1日~2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第1四半期	3,143	△5.2	56	△54.5	27	△77.5	△8	—
2019年9月期第1四半期	3,314	—	125	—	122	—	60	—

(注) 包括利益 2020年9月期第1四半期 △9百万円(—%) 2019年9月期第1四半期 60百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第1四半期	△0.87	—
2019年9月期第1四半期	5.98	5.82

- (注) 1. 当社は2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。
2. 2018年9月期第1四半期においては四半期連結財務諸表を作成していないため、2019年9月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
3. 2020年9月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第1四半期	6,681	3,121	46.6
2019年9月期	6,854	3,154	45.9

(参考) 自己資本 2020年9月期第1四半期 3,111百万円 2019年9月期 3,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	5.00	—	3.00	—
2020年9月期	—	—	—	—	—
2020年9月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、2019年9月期第2四半期末配当金は実際の配当金を記載しております。

3. 2020年9月期の連結業績予想(2019年10月1日~2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,010	6.4	524	12.7	492	8.6	256	3.5	24.84

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期1Q	10,351,800株	2019年9月期	10,327,800株
② 期末自己株式数	2020年9月期1Q	一株	2019年9月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期1Q	10,341,321株	2019年9月期1Q	10,065,830株

(注) 当社は、2019年9月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き政府の経済政策や日銀による大規模な金融緩和の継続により、雇用・所得環境の改善がみられ、個人消費は低成長ながらも堅調な推移が続いており、経済状況も緩やかながら好調に推移いたしました。一方、米中通商問題の動向が世界経済に与える影響や中国景気の下振れリスク、英国のEU離脱問題を含む海外経済の動向、金融市場の変動の影響など、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社グループ事業に関係の深い住宅業界におきましては、国土交通省発表による新設住宅着工戸数は2019年1月～2019年12月累計で前年同期比96.0%と減少するものの、分譲戸建については前年同期比で103.6%と増加しており堅調に推移しました。都市部を中心とした新築マンションは、災害復興や東京五輪の開催決定による建設資材や人件費の高騰、また非住宅施設（ホテル等）との競争による用地取得コストの増加を背景に、価格は高止まりし、契約率は低い水準で推移しております。

このような状況のもとで、当社グループは、「世界に誇れる独創的建物サービスで社会と感動を分かち合う」という当社グループ理念に基づき、持続的な事業の成長とさらなる企業価値の向上に向け活動を強化しております。また、当社グループビジョン「全ての建物にキャンディル」の実現に向けて、2016年に閣議決定された「住生活基本計画」に沿ったサービスの拡充と「お客様のニーズにあった新商品開発に取り組み、住宅関連サービス及び商業施設関連サービスの拡充等、売上拡大に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は3,143,859千円(前年同期比5.2%減)、営業利益は56,986千円(前年同期比54.5%減)、経常利益は27,513千円(前年同期比77.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失は8,997千円(前年同期は60,236千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。なお、当社では組織再編及びM&Aの実施に伴い発生したのれん償却費を販売費及び一般管理費に48,055千円(前年同期と同額)計上しており、これを加えたのれん償却前経常利益は75,569千円(前年同期比55.6%減)、のれん償却前親会社株主に帰属する四半期純利益は39,058千円(前年同期比63.9%減)となります。

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントとしておりますが、サービス分野別の状況は以下のとおりです。

① リペアサービス

当第1四半期連結累計期間におけるリペアサービスの売上高は1,294,576千円(前年同期比1.4%増)であります。

株式会社バーンリペアは主に戸建てを中心としたリペアサービスを提供しておりますが、同社のリペアサービスは堅調に推移した結果、売上高は982,550千円(前年同期比2.8%増)となりました。株式会社キャンディルテクトは主に集合住宅を中心としたリペアサービスを提供しておりますが、集合住宅の販売戸数の減少の影響で、同社のリペアサービスの売上高は312,025千円(前年同期比2.6%減)となりました。

② 住環境向け建築サービス

当第1四半期連結累計期間における住環境向け建築サービスの売上高は771,083千円(前年同期比9.7%減)であります。

株式会社バーンリペアは主に戸建てを中心とした定期点検やリコール対応を提供しており、同社の住環境向け建築サービスの売上高は555,597千円(前年同期比6.5%減)となりました。株式会社キャンディルテクトは主に集合住宅を中心とした検査サービスや内覧会運営サービスを提供しており、同社の住環境向け建築サービスの売上高は215,485千円(前年同期比0.9%減)となりました。

③ 商環境向け建築サービス

当第1四半期連結累計期間における商環境向け建築サービスの売上高は894,502千円(前年同期比10.0%減)となりました。

株式会社キャンディルテクトは主に商業施設の内装施工サービス、組立サービス、揚重サービスを提供しています。

④ 商材販売

当第1四半期連結累計期間における商材販売の売上高は183,698千円(前年同期比3.6%減)であります。

株式会社キャンディルデザインは、補修材料を中心とした販売サービスの提供と北海道を中心に高級カーテン

などのインテリア商材の販売サービスの提供を行っております。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は6,681,214千円となり、前連結会計年度末に比べ173,258千円の減少となりました。

流動資産は3,528,637千円となり、前連結会計年度末に比べ100,155千円の減少となりました。これは、主に現金及び預金が2,305千円減少したこと、受取手形及び売掛金が118,213千円減少したことなどによります。

固定資産は3,152,576千円となり、前連結会計年度末に比べ73,103千円の減少となりました。これは、主にのれんが48,055千円減少したこと、繰延税金資産が30,991千円減少したことなどによります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は3,560,027千円となり、前連結会計年度末に比べ140,376千円の減少となりました。

流動負債は2,160,027千円となり、前連結会計年度末に比べ140,313千円の減少となりました。これは、主に未払法人税等が202,280千円減少したことなどによります。

固定負債は1,400,000千円となり、前連結会計年度末に比べ63千円の減少となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は3,121,186千円となり、前連結会計年度末に比べ32,882千円の減少となりました。これは、主に利益剰余金が39,980千円減少したことなどによります。

(自己資本比率)

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は46.6%（前連結会計年度末比0.7ポイント増加）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点の業績予想につきましては、2019年11月14日の「2019年9月期 決算短信」で公表しました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,590,221	1,587,915
受取手形及び売掛金	1,793,032	1,674,819
商品及び製品	97,290	108,983
原材料及び貯蔵品	42,338	47,321
その他	109,777	113,268
貸倒引当金	△3,867	△3,670
流動資産合計	3,628,793	3,528,637
固定資産		
有形固定資産	67,910	79,331
無形固定資産		
のれん	2,883,355	2,835,299
その他	83,947	79,844
無形固定資産合計	2,967,303	2,915,144
投資その他の資産		
繰延税金資産	101,080	70,089
その他	93,117	92,507
貸倒引当金	△3,732	△4,496
投資その他の資産合計	190,466	158,101
固定資産合計	3,225,680	3,152,576
資産合計	6,854,473	6,681,214

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	314,562	276,941
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	200,000
未払法人税等	211,153	8,872
賞与引当金	163,584	76,264
未払費用	607,554	648,789
その他	403,487	549,158
流動負債合計	2,300,341	2,160,027
固定負債		
長期借入金	1,400,000	1,400,000
その他	63	—
固定負債合計	1,400,063	1,400,000
負債合計	3,700,404	3,560,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	497,042	500,903
資本剰余金	2,217,142	2,221,003
利益剰余金	429,220	389,240
株主資本合計	3,143,405	3,111,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	576	274
その他の包括利益累計額合計	576	274
新株予約権	10,087	9,764
純資産合計	3,154,069	3,121,186
負債純資産合計	6,854,473	6,681,214

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2018年10月1日 至2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2019年10月1日 至2019年12月31日)
売上高	3,314,594	3,143,859
売上原価	2,139,024	2,021,482
売上総利益	1,175,570	1,122,377
販売費及び一般管理費	1,050,235	1,065,390
営業利益	125,334	56,986
営業外収益		
受取利息	15	16
受取配当金	53	59
受取保険金	1,752	2,474
助成金収入	—	1,758
その他	375	628
営業外収益合計	2,195	4,936
営業外費用		
支払利息	4,642	3,943
市場変更費用	—	27,655
その他	663	2,811
営業外費用合計	5,305	34,410
経常利益	122,225	27,513
税金等調整前四半期純利益	122,225	27,513
法人税、住民税及び事業税	38,585	5,358
法人税等調整額	23,403	31,151
法人税等合計	61,988	36,510
四半期純利益又は四半期純損失(△)	60,236	△8,997
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	60,236	△8,997

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2018年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	60,236	△8,997
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	46	△302
その他の包括利益合計	46	△302
四半期包括利益	60,282	△9,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	60,282	△9,299
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、建築サービス関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。